

新・願生寺正鑑

先達の願いに生きん

がんししょうじ

願生寺編

▼A5判・上製カバー! 546頁 定価 三、九六〇円

2023年12月刊行



教義解釈を巡り住職追放・取り潰しまでに到った「願生寺安心事件」。住職・門徒たちの、いのちをかけた信仰が現代に問いかける。

【目次】

刊行の辞

真宗大谷派新潟教務所長、

新井・高田・三条別院輪番

藤懿信磨

水滴石を穿つ

往生人舎主宰 今泉温資

第一部 願生寺の歴史Ⅰ——郷土史——

願生寺と蒲原の寺々と門徒衆

廣澤憲隆

- 一 願生寺さまとの出会い／佐藤扶桑先生とのご縁
- 二 在家仏教誕生の越後／長尾家の真宗禁制と弾圧／川中島合戦と北信濃の真宗／戦場になる村人の逃散
- 三 川を下る念仏者たち／教如上人と浄興寺／栄誓師と蒲原の門徒
- 四 改派詮議の苦汁と信の一念／願生寺末の寺を探る
- 五 佛光寺への改派願い／時を争う寺存続の危機／なぜ佛光寺を頼ったのか／佛光寺随如と興正寺に月感
- 六 新田開発を支える原動力／流動激しい宗門の動き

第二部 願生寺の歴史Ⅱ——安心事件——

願生寺安心事件の全容

古谷清磨

- はじめに
- 一、東本願寺の動向と佛光寺改派の経緯
 - 二、村上藩の動向
 - 三、清傳寺門徒の動向
 - 四、佛光寺本山の動向
- 【附】願生寺安心事件関連年表

第三部 願生寺の歴史Ⅲ——真宗史・教理史——

太田浩史

序

- 暁の巻
- 名家の巻
- 修羅の巻
- 遮那の巻
- 愚禿の巻
- 平出の巻
- 蓮の巻
- 法敵の巻
- 虎の巻
- 石山の巻
- 深信の巻

第四部 資料編

『願生寺物語』関係史料

太田浩史

- 一、願生寺年歴
 - 二、尊願上人関係資料
 - 三、大高山関係資料
 - 四、願生寺事件関係資料
- 執筆者紹介
願生寺系図

あとがき

真宗大谷派願生寺住職 平出文勇

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法藏館	
願生寺編	
新・願生寺正鑑	
先達の願いに生きん	
ISBN: 978-4-8318-7934-9 C3015	
お名前	住所
お電話	定価 三、九六〇円

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教・真宗